



# 千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄証) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.10.26 No. 3299

## 夏の成果をひきついで 冬期物販に全力をあげよう

### 全国オルグ団フル回転

今年の冬季物販は、すでに全力で取り組まれて、第十七回定期大会終了後、ただちに全国オルグが始まっています。事業部長と各支部のオルグ団員は、この二週間あまりでの五十日のオルグを展開してきています。そしてすでに百をこえる注文書が

今年度の冬季物販は、協販部によせられていま、今度の冬季物販は、はじめに物品を決定する段階で全組合員からのアンケートを行い、その回答を参考にえりすぐった十品目を新たに追加しています。全組合員は、冬季物販の成功へ、全力で取り組もう。

### 闘いを広げる力

物販活動は、それ自身が労働千葉の組織的財政的基盤の確立にとって、決定的に重要であるとともに、清算事業団闘争をはじめとして国鉄労働者の闘いを正しく伝え、支持を獲得する上で大きな力になっていきます。一つひとつの注文が労働千葉を支える柱になっているのです。とくに今年の夏の物販では取り組む労働組合員がふえています。

### 県内労働組合オルグ 組合員一人二万円円達成へ

千葉県下でも、夏の物販はこれまでにない成果をあげてきています。全支部はただちに、県下の地区労、各労組に冬季物販の要請にかけよう。さらに、組合員一人二

### JR千葉支社

## またも不当処分乱発

JR千葉支社は、九月二十一日以降、またもや組合バッチ・ネクタイピン、組合費徴収、浜野津田沼支部長の強制配転に対する抗議、等を理由に、組合員五十三名に對し、不当処分を発令した。

この間、清算事業団ストに對する不当処分、組合バッチ着用や「反発」、組合費徴収等を理由にした不当処分、昇給カットなど、極めて悪らつな理由なき処分が乱発されている。五十三名という、かつてない大量の処分者数に明らかとなり、今回の不当処分は、これをさらにエスカレートさせるものである。とりわけ、今回の処分のなかで、今年二月十三日、津田沼浜野支部長の強制配転に際し、抗議した、というものである。この間の「労働千葉を何なんでも根絶せよ」という、当局とJR総連革マルの意図によって今になってもちだされたことは明らかである。つまり今回の処分は「処分のため」の処分、労働千葉破壊を唯一の目的とした処分である。われわれは、あらゆる反動を打ち破らなければならない。この攻撃に対しては妥協する道などない！徹底的に闘い、国鉄労働運動の再生をかちとろう！

### 第十二回団結祭典に集まろう

◎とき 十一月三日(土) 九時開会

◎ところ 千葉公園サブグラウンド

…駐車場あります(案内参照)